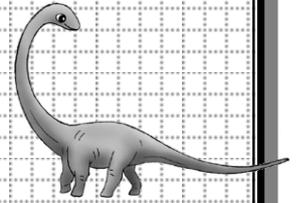


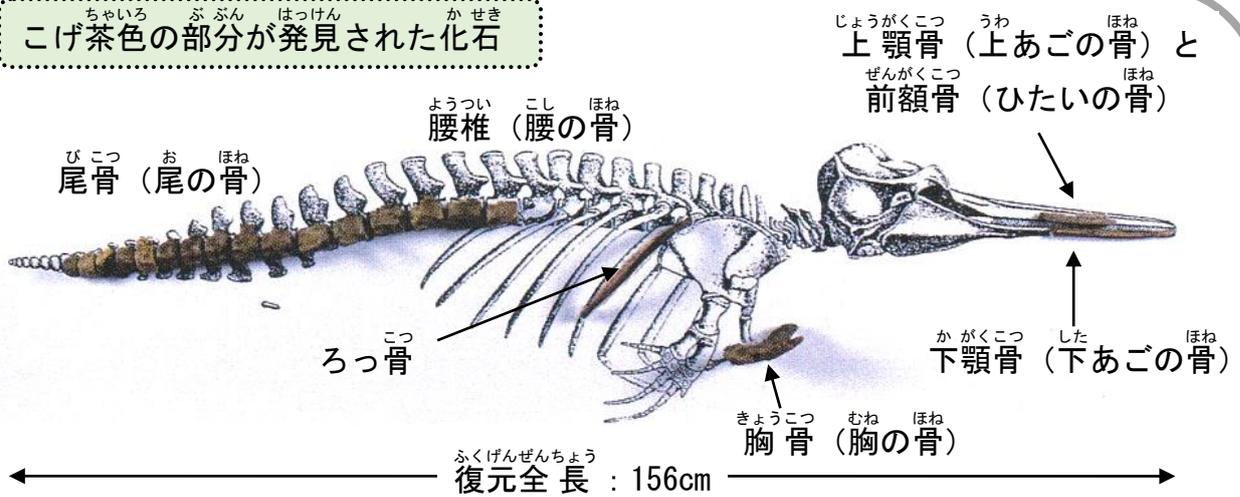
# けんぱくものしりシート

## ぶぶんこっかく ヒライズミイルカの部分骨格



こちらは、1988(昭和63)年に日本で初めて発見された、カワイルカの部分骨格です。岩手県南部の平泉町で発見されたので、その地名をとって「ヒライズミイルカ」と名づけられました。

こげ茶色の部分が発見された化石



▶産出地: 平泉町 鼠沢 特殊資源鉱業採掘場 ▶時代: 新生代新第三紀前期鮮新世 竜の口層



どんな場所から発見されたの?



平泉町の毛越寺というお寺から西へ約2km行った所に、カキの化石を肥料や飼料にするために掘り出している場所があって、そこで発見されたのよ。



全部の骨は見つからなかったのね。



残念ながらそうなんです。でも、小さな尾の骨や腰の骨などのほかに、歯が生えていたあな(歯そう)がたくさん並んでいる細長いクチバシ(上あごや下あごの骨)や、小さな歯の化石が見つかったのよ。その特徴からこの化石は、ハクジラ類のカワイルカの仲間で、現在、南アメリカのブラジル、アルゼンチンなどの大西洋沿岸にいるラプラタカワイルカの仲間であることがわかったのよ。

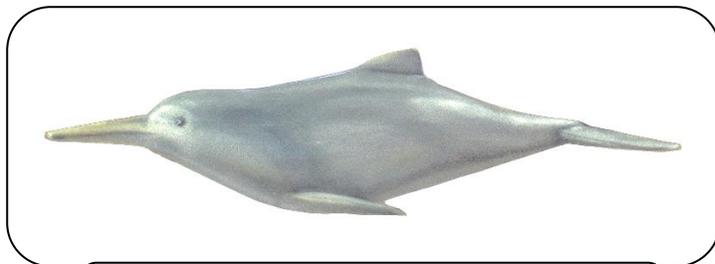




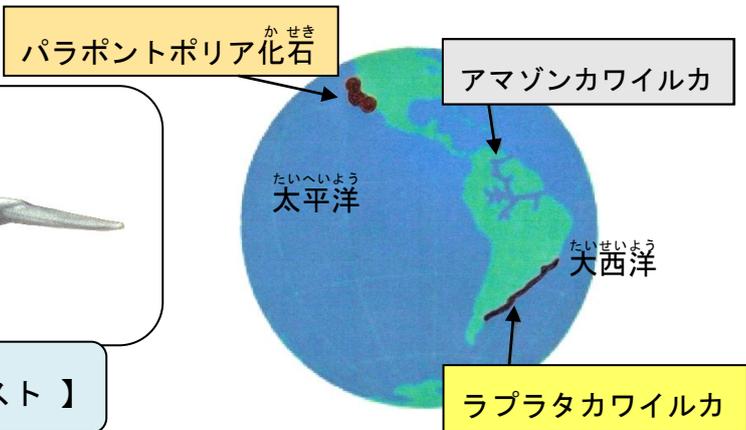
すご〜い。日本で初めてのカワイルカの化石発見！！ということね。



カワイルカの仲間は現在5種類いて、その内アマゾンカワイルカなど、4種類のカワイルカは世界の大きな川にすんでいます。ラプラタカワイルカは陸地に近い浅い海で生活しているのよ。カワイルカの多くは絶滅しそうなものばかりなの。今から約500万年前（新生代新第三紀前期鮮新世）の地層から発見されたヒライズミイルカは、この時代にいたラプラタカワイルカの仲間、パラポントポリアに属することがわかっているのよ。パラポントポリアの化石は、北アメリカの西海岸から見つかっているので、ヒライズミイルカの発見によって、かつてはこの仲間が太平洋沿岸に広く生活していた可能性が出てきたのよ。



【ヒライズミイルカ復元イラスト】

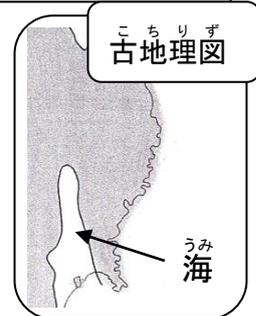


すごい。世界的な話になってきたね。そうすると大昔、平泉町のあたりは海だったの？

<ラプラタカワイルカの分布と化石の産出位置>



そうなんです。今から約500万年前、平泉町のあたりには仙台湾から続く海が入りこんでいて、北上市あたりまで入り江が広がっていたのよ。その海にはクジラやサメ、トド、二枚貝なども生活していたの。それに海鳥の骨質歯鳥もいたのよ。それらの化石も展示しているので見ていってね。



参考 『岩手県立博物館だより No.56』 岩手県立博物館 1993年  
『これなあに？ 地質-27 ヒライズミイルカ部分骨格』 岩手県立博物館 1998年 他

らいげつ がつ  
来月(2月)の  
けんぱくものしりシートは  
こうこ  
考古-18だよ！  
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷 34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/

※「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。